

プリンタブルセンサーコード技術研究組合（略称：PSC）の概要

- **設立年月日** : 平成30年2月26日
- **理事長** : 吉井 重治（（株）IP Bridge 代表取締役）
- **組合員** : （7企業：平成30年5月1日現在）
（株）C-INK,（株）IP Bridge,（株）PMCODE,イノベーション・ラボラトリ（株）,国際紙パルプ商事（株）,ヤエガキ醗酵技研（株）,山口証券印刷（株）
- **事業費** : 平成30年度0.8億円
- **事業の概要** : 印刷可能な温度センサー（プリンタブルセンサーコード）の研究開発。

○組合設立の目的

国内外で物流過程での品質管理やトレーサビリティが求められる製品が増加しており、温度管理に関しても潜在的需要が高まっている。これらのニーズに対応するため、インク技術、印刷技術、ソフトウェアを統合し、ラベル・パッケージ等に印刷可能な温度センサー（プリンタブルセンサーコード）の開発、これを製品化することが目的である。

○実用化の方向性

初期段階では、市場ニーズの高い分野に集中しコードを完成させる。その後、他分野へ展開方針を模索する。既存の電池を備える温度センサーと比べ、消費電力、パッケージの償却処分可能等の優位性がある。

○事業化の目途の時期

フォーマット策定、リーダの調整、量産にむけたインクの調整等、機能別に担当企業と大学を割り振並行して進めることにより1 - 2年を目途とする。



● 研究開発体制

プリンタブルセンサーコード技術研究組合（PSC）

